

ないことから、現在、観光シャトルタクシーを臨時運行しています。

次に、商業の振興策については、当面は月に一回程度、人道の丘公園で町観光協会による「八百津マルシェ」と名づけた特産品販売のテント村を開催していく計画です。また、3月には、大仙寺において「門前町から大仙横丁」と銘打ってにぎわい横丁が開かれます。こういった事業が、思いのある皆さんの結集力のもと、大きく育っていくよう、一緒になってつくり上げていきたいと考えています。

## Q2 町長報酬と職員給与について

### 報酬・給与

**問** 町長は、四年前の町長選挙に立候補され、町長給与について、「給与を下げます。」と言われたが、その意図をお聞きしたい。また、以前から八百津町職員の給与は、可児・加茂両郡の中で低いと聞いている。人口等の比率からみても職員の給与水準を引き上げることについて、検討してはどうかと思うが、考えを伺う。

**答** (金子町長) 前回の町長選挙で、町長の給与を下げる公約を掲げました。

名古屋市長も自ら給与を引き下げることが話題となったところですが、一部には大衆迎合や人

## へりポートの舗装化を

**問** ドクターヘリについては、各地区において指定されたグラウンド等で離着陸をしているが、砂ほこり等がヘリコプターに悪影響を及ぼすため、事前に水まき作業を行い、着陸するという手順になっている。

**答** (渡辺防災安全室長) 八百津町では、現在13カ所の離着陸場が指定されていますが、むらさき野カントリークラブのへりポート以外は舗装されていません。

**問** 砂のグラウンドでは、へりの離着陸の強い風圧により砂ほこりが発生するため、可茂消防事務組合八百津出張所が要請により出動し、散水及び飛散物の除去等を行っています。東部地区では、消防車、救急車よりもドクターヘリのほうが早く着陸場所に到着することがあり、散水しなくてもパイロットが安全確認し、着陸することがあります。

**答** (金子町長) 質問の舗装については、町内のドクターヘリの指定箇所は学校のグラウンドが多く、舗装することは難しく、また行事の

支障にならない所を一部舗装した場合でも学校や近隣住民への砂ほこり等の影響はあるため、散水はどうしても必要となります。

**問** 議員ご指摘のとおり町内のドクターヘリの要請は、東部地区が多くなっています。こうした状況も踏まえ、へりポートの整備について検討していききたいと考えています。

**答** (金子町長) 舗装等の整備がいつ頃となるのか、町長に伺いたい。

**問** 舗装等の整備がいつ頃となるのか、町長に伺いたい。

**答** (金子町長) 今年2月19日付各社新聞記事に岐阜県の2016年度当初予算(案)が掲載されました。その中で災害により孤立が予想される集落への救助等のためのへりポートの整備に対する助成事業案がありましたので、今後、県と協議し検討していききたいと考えております。

### 柘植清貴議員

## Q1 消防団の充実への取り組みについて

### 消防団の充実

**問** 町では、「第5次八百津町行財政改革大綱」において、「部・班の統廃合を行い組織を再編成するとともに、適正な定数に改める」としているが、消防団は、消火活動のみならず、

大規模災害時の救援活動、災害防衛活動など非常に重要な役割を果たしている。そこで、消防団の再編成と町の消防力の維持をどのように考えているのか、現状を踏まえて次のことを伺いたい。

- ①現在の消防団員数と平均年齢及び勤務年数。
- ②定数の基準は何か。また、現在の団員数は適正な定数か。
- ③部・班の再編成の状況。
- ④消防団の充実と消防力の維持のため、今後どのような取り組みをするのか。

**答** (渡辺防災安全室長) 平成27年4月1日現在、団員数は定数365名に対し349名(うち協力団員39名)で充足率は95.6%となっています。平均年齢は、37.2歳、平均勤務年数は、本年3月現在11年となっています。

定数の基準は、消防庁の「消防力の整備指針」で定められており、消防団の総数は、消防団の管理する動力ポンプごとの人数と、小学校区内の可住地面積による画一的な基準をもとに算定していましたが、この算定方法によると、実態にそぐわない団員数が算出される可能性があることから、平成26年の改正により、地域の実情に応じた業務を円滑に遂行するために必要な数とすると改正されました。現在、八百津町の定数は、平成12年に